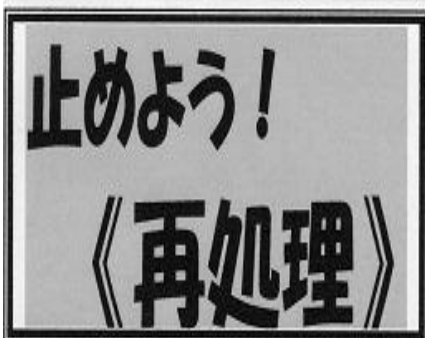


三陸の海を放射能から守る 岩手の会

郵便振替 02240-5-102650
ホームページ《再処理／岩手の環境》
http://homepage3.nifty.com/gatayann/env.htm
《まった再処理分庫》
http://briefcase.vahoo.co.jp/kimag



《天恵の海》

2012(平成24)年
7月9日
第115号
編集事務局 S.Oshida
TEL・FAX 019-623-1636

原子力研究開発機構へ再質問

東海再処理工場の 高レベル廃液《393m³》の 過酷事故対策を再び問う



東海再処理工場の安全性についての再質問状を日本原子力研究開発機構（JAEA）鈴木篤之理事長宛提出する行動が、六月二五日茨城県東海村で行われました。三時半から「アトムワールド」において「脱原発とうかい塾」「反原子力茨城共同行動」ら地元の人々と、「岩手の会」の三人が出席し、原子力機構地域交流課の佐々木課長以下四名の担当者に対し「再質問状」を提出しました。原研機構担当者は七月二五日までに回答すると答えました。この模様は朝日新聞、読売新聞、茨城新聞の三社が取材し翌日の茨城版に報ぜられました。

事業者は説明責任を果たせ

今回の「再質問状」は三週間前に、同機構に送り、十分な検討時間を持

てるように配慮しました。特に技術者による説明を求めていましたが、今回の機構側の担当者は広報担当でした。そして驚いたことに「再質問状を受け取るだけ」という態度に終始し、訪れた市民代表への説明はありませんでした。市民側は「説明の場」を設定するよう申し入れましたが、担当者は、「確約する権限はない」と繰り返すのみでした。市民側はこの件について、鈴木篤之理事長に直接要請する事としました。

東海村村長を訪問



4時半から9人の代表が、東海村役場会議室で村上達也村長と職員4人にお会いし、要望・懇談を行いました。

高レベル廃液の安全対策を進めたい

要望事項は

1. 高レベル廃液はたとえシビアアクシデントがあっても、環境へ漏えいしないようJAEAに対策を求めて下さい。
2. 高レベル廃液はガラス固化するなどして、貯蔵量を徹底して減少させるようJAEAに求めて下さい。
3. 国や茨城県当局へも高レベル放射性廃液の安全対策を求めて下さい。

マスコミは東京新聞、共同通信が加わり五社が取材しました。

脱原発・安全な東海村づくり

JCO臨界事故では人命第一とし、村としていち早く村民の避難を行い、福島原発事故後には東海第二原発の廃炉を提案している村上達也村長は、東海再処理工場の高レベル放射性廃液についての私達の要望に、熱心に耳を傾け、率直な感想と意見を披瀝して下さいました。（以下懇談の主な内容。）

高レベル廃液安全対策を国や事業者へ要求

村上達也村長
原発の危険性については一般の関心も高いが、再処理工場の廃液について

これだけは聞かねばならない！
原研開発機構への再質問状の内容
 ◆高レベル廃液過酷事故防護の最後の手段はあるのか
 ◆「大津波でも廃液タンクは海水で冷やされる」という回答はあまりに無責任
 ◆超危険物「高レベル廃液」を扱う責任の自覚

でもっと強く事故防護や安全対策を要請して行くべきです。実態は、ガラス固化の不具合があつて廃液はさつぱり減らない。非常に危惧しておりました。私の方から、原研機構の鈴木理事長に廃液の安全対策とともに「再処理はやめて、使用済み核燃料はそのまま保管しよう」と言つてきました。

についても大事なものは、冷却や掃気の電源確保です。安全対策を一つ一つ確認して行く必要があり不十分な面が反省させられる。東海第二原発では、使用済み核燃料は時間が経つて減衰し乾式貯蔵でやっています。キャスクに使用済み核燃料を入れて空気を冷却する方法です。

六ヶ所工場の使用済み核燃料貯蔵プールはもう満杯です。原発サイトの途中で発生した使用済み核燃料はそのサイトの中で安全に管理して行くべきです。私は、全国原子力発電所所在市町村協議会の場でそう主張しています。

経産大臣に意見書
 相沢一正東海村議

本年四月三日に枝野経産大臣のもとに持つて行った東海村の意見書の中でも、はつきり、高レベル廃液の安全管理について伝えておきました。

七月六日開催された盛岡市議会本会議は重茂漁協、県消団連、豊かな三陸の海を守る会の提出した放射能海洋放出規制法(仮称)請願を採択し、それに基づく国への意見書を採択しました。採決数は議長を除く総数三七人中、賛成二九反対六、退場一、欠席一。これで岩手県下三三三市町村議会中三三二の議会

盛岡市議会
放射能海洋放出規制法(仮称)制定
注 明 願 採 択

七月六日開催された盛岡市議会本会議は重茂漁協、県消団連、豊かな三陸の海を守る会の提出した放射能海洋放出規制法(仮称)請願を採択し、それに基づく国への意見書を採択しました。採決数は議長を除く総数三七人中、賛成二九反対六、退場一、欠席一。これで岩手県下三三三市町村議会中三三二の議会

が採択し国へ意見書をあげ、残るは金石市議会のみとなりました。

岩手県環境福祉委員会
六ヶ所再処理工場の安全管理請願一部可決
 岩手県議会環境福祉委員会は七月五日開催され、岩手の会から提出されていた「六ヶ所再処理工場の放射能汚染から県民を守る請願」を審議し、「高レベル廃液の安全管理の徹底、県民の命と暮らしを脅かすことのないよう防護策の働きかけ」の部分を委員八人全員の賛成で可決しました。本会議は九日に開催されます。

奥州市議会
 六月二〇日、「関西電力大飯原発3・4号機の早期再稼働に反対する意見書」を国などへ提出する議案を賛成多数で可決しました。

一関市議会
 六月二二日、電力需給バランスを優先した原発の再稼働は行うべきではないとする「国民的合意を求める意見書」を議員発議により全会一致で可決しました。

村上村長 住民が高レベル廃液は早くガラス固化せよ、と要求するのは当然です。いま原子力委員会の方で再処理か直接処分かが議論されている。高レベル廃液について、青森、岩手だけではなく、東海も心配させられる。被害ができれば、北海道を含め非常に広範な地域となり、東海村村長としても安全策についてきちんと要求して行かねばならない。なにしろ30*1000内に百万人が住んでいるのです。(まとめ・尚)

稼働ゼロ 57日で中絶

再稼働反対！抗議の人波

20万人の市民！

大飯原発3号機
 出力118万KW 加圧水型
 ◇直下に破碎層(活断層)の存在。(耐震規則に違反)
 ◇新に、使用済み核燃料(核分裂生成物・燃えないウラン・サヤ管など)が、1年で、推定約100トンが発生。放射能をなくする方法はなく危険物。貯蔵プールは満杯が近づく。

6.29

国会議事堂方面
 首相官邸
 撮影：野田雅也 (JVJA)

「正しい報道ヘリの会」提供 <http://fotgazet.com/news/000226.html>